

平成26年11月19日(水) 第5校時
2年 生徒数17名(男子13名女子4名)
指導者

1 題材 「適性発見」向いているのはどんな人？

内容 (3) ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用

2 題材について・キャリア観 (キャリア教育の視点に関わる部分にアンダーライン)

(1) 生徒の実態

本学級の生徒は、全体的に明るく活発で何事にも意欲的に取り組める生徒が多い。しかし、一人ひとりに目を向けてみると、固定化された人間関係を窮屈に思っている生徒や自分らしさを学級の中で出し切れていない生徒など、思いが様々である。

進路学習では、年度当初から職場体験学習(わくわくチャレンジin須崎)への準備、体験を通して、自分と社会とのかかわりや働くことの意義や大切さについて学んできた。その集大成として文化祭で、地域の方・保護者の前で堂々と体験したことを発表し、14歳の決意を伝えることができた。

(2) 題材設定の理由

事前の活動で、自分の進路を考える前段に職業理解の一環として、みらいスイッチを活用し職業分類を行った。本活動では、職場体験学習後の考察を深め、今後の学校生活に生かすために「みらいスイッチの5種類の仕事(未来を支える仕事、未来を動かす仕事、未来につなぐ仕事、未来を育てる仕事、未来を守る仕事)に必要な適性を考える活動」を中心課題として個人での思考、グループで話し合いを展開する。そして、生徒自身が個人で思考し、友だちの考えを聞き交流する中で、「社会人として働く上で必要とされる適性とは何か」を理解し、自分自身を振り返り自分が今やならなければならないことを考え判断し、目標に向かって学校生活を送る力をつけたいと考え、本題材を設定した。

3 指導のねらい (キャリア教育の視点に関わる部分にアンダーライン)

○ 教科の指導目標

・職業に求められる適性について考え合うことによって、社会人として働く上で必要とされる適性について理解し、今後の学校生活に生かす。

○ キャリア教育視点での目標

・目標に向かって希望を持つ。【キャリアプランニング能力】

4 評価の視点と本実践における評価基準

	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級 活動 3	人間としての生き方や学ぶこと、働くことなどに関心をもち、自己のよさを伸ばしながら、自主的、自律的に活動に日常の生活や学習に取り組もうとしている。	自己の将来に希望を抱き、その実現に向け、現在の生活や学習を振り返り、これからの自己の生き方などについて考え、判断し、実践している。	学ぶことと働くことの意義や、自己の能力や適性、進路選択に必要な情報や将来設計の仕方などについて理解している。

5 指導の過程

(1) 事前の指導と生徒の活動

期日	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
10月	- 職業分類 (みらいスイッチ) - 生徒アンケート 保護者アンケート	5つの種類の仕事に分類する。 - 将来を見つめることで、自己理解を深めるようにする。 - 事前に保護者から「どんな人になってほしいか」のアンケートを取っておく。	【関心・意欲・態度】 職業が求める適性について関心を持ち、他の生徒と協力して、自主的、自律的に活動に取り組もうとしている。 [観察][ワークシート]

(2) 本時の指導と生徒の活動

①本時の活動テーマ「適性発見」

②本時のねらい (キャリア教育の視点に関わる部分にアンダーライン)

○自分の考えを発表し、グループで話合ったりまとめたりすることを通して、職業に求められる適性について理解し、今後の学校生活で大切にしたいことを考える。**【思考・判断】**

③展開 準備物 フリップ・ワークシート・電子黒板

	学 習 活 動	指導上の留意点 ○・・・学習活動の留意事項 ☆・・・キャリア教育視点での留意事項	目指す生徒の姿と評価方法
活動の開始	1 先生の職業当てクイズにグループで取り組む。 2 本時のねらいを確認する。	○教師が自己開示することによって、グループで話し合う雰囲気を作らせる。 ○みらいスイッチのしごとの中で興味があった仕事について考えさせる。	
	ねらい：みらいスイッチの5種類の仕事（未来を支える仕事、未来を動かす仕事、未来につなぐ仕事、未来を育てる仕事、未来を守る仕事）にはそれぞれどのような適性が必要か考えよう。		
活動の展開	3 活動① 5種類の仕事に必要な適性について自分で考える。 4 活動② 活動①の内容についてグループで話し合い、カテゴリー分けを行う。	○働くうえで大切だと思う適性について、5色の付箋に記入し理由も考えさせる。 ○記入できない生徒については、15項目の適性発見ヒントカードをもとに考えさせる。 ○働くために必要なこと大切なことランキングなど、職場体験学習での気づきなどを想起させる。 ○自分の考えを積極的に発表するとともに、そう考えた理由も述べるようにさせる。 ○グループでの話し合いを取り入れ、友だちとの類似点や相違点に気づくことができるようにする。 ○カテゴリーに「○○な人」等の見出しを付けさせる。	【関心・意欲・態度】 職業が求める適性について関心を持ち、他の生徒と協力して、自主的、自律的に活動に取り組もうとしている。 [観察][ワークシート]

	5 活動③ グループでの話し合いをもとに、5種類の仕事に必要な適性について、フリップに記入する。	○記入されたものをもとに、職場体験学習などの今の学びが自分の夢の実現につながっていることに気づかせるとともに、自分自身を振り返らせる。	
活動のまとめ	6 評価、感想・まとめ 今日学んだことや職場体験学習での気づきをもとに、学校生活で大切にしたいことを考える。	☆自分自身を振り返り、ワークシートへ自己評価、感想、学校生活で大切にしたいことを考え、記入させる。 ○次回は自分がどんな職業に向いているかについて考えることを予告する。	【思考・判断】 今日学んだことや職場体験学習での気づきをもとに、今後の学校生活に生かすことを自分のこととして考え、自己決定している。 [観察][ワークシート][発表]

(3) 事後の指導と生徒の活動

日時	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
12 月	・ペタペタびたり！私の特徴 ・保護者アンケートの結果 ・個人面談	・自分の夢をかなえるためにこれから自分がどんなことを身につければよいか分かったことに注目させる。 ・「どんな人になって欲しいか」保護者アンケートの結果を知らせる。 ・個人面談で、各自が自己決定した内容を話題として取り上げ振り返りをさせる。	【知識・理解】 学ぶことと働くことの意義や、自己の能力や適性を理解している。 [観察][ワークシート]

6 参考資料等

高知県教育委員会（小中学校課）（2013）：「中学生のためのキャリア教育副読本みらいスイッチ」
 國分康孝監修（1999）：「エンカウンターで学級が変わる Part 3 中学校編」図書文化

適性発見！向いているのはどんな人？

2年 氏名()

ねらい：みらいスイッチの5種類の仕事にはそれぞれどのような適性が必要か考えよう。

【授業の流れ】

1. 職業当てクイズ
2. ねらいを確認
3. 活動① 5種類の仕事に必要な適性について自分で考える。
(働くために必要なこと大切なことランキングや適性発見ヒントカードも参考にしよう！)
4. 活動② 活動①の内容についてグループで話し合い、
カテゴリー分けを行う。
↓
カテゴリーに「〇〇〇な人」などの見出しをつける。
5. 活動③ グループでの話し合いの結果をフリップに記入して
黒板に貼り出す。

6. 自己評価・感想・学校生活で大切にしたいことを考える。

【自己評価】(よくできた4ーできた3ーもう少し2ーできなかった1)
○自分の考えを積極的に発表することができた。

(4 - 3 - 2 - 1)

○グループの話し合いで友だちとの類似点や相違点に気づくことができた。

(4 - 3 - 2 - 1)

○みらいスイッチの5種類の仕事の適性について考えることができた。

(4 - 3 - 2 - 1)

○今後の学校生活で大切にしたいことを考えることができた。

(4 - 3 - 2 - 1)

【感想】

【これからの学校生活で大切にしたいこと】

働くために必要なこと 大切なことランキング

1位	
2位	
3位	
4位	
5位	

適性発見ヒントカード

明るくて思いやりがある人
きちようめんで注意深い人
センスがあって発想の豊かな人
人への対応や話が上手な人
奉仕する気持ちの強い人
健康な身体・体力がある人
植物や動物の世話が好きな人
忍耐力のある人(がまん強い人)
手先が器用で細かい仕事が好き人
物を作る・修理するのが好きな人
機械やコンピュータに興味のある人
正確にきちんとやる人
集計や計算などの得意な人
書類の作成や整理などの好きな人
資格や免許などがある人